

## 《交流分析研究編集委員会》

編集委員長	齋藤 紀先	弘前大学大学院医学研究科臨床検査医学講座
副編集委員長	大谷 真	東京大学医学部附属病院心療内科
編集委員	篠崎 信之	東洋大学文学部教育学科
(五十音順)	柴山 修	横浜労災病院心療内科
	山北 高志	藤田医科大学岡崎医療センター皮膚科
	吉原 一文	九州大学キャンパスライフ・健康支援センター健康科学部門

### 編集後記

『交流分析研究』第48巻第2号をお送りいたします。巻頭言は、今年開催される第49回学術大会で会長をされる室城隆之先生からいただきました。交流分析を臨床現場に活かすことへの先生の熱意が伝わります。今号は昨年開催された第48回学術大会の一般演題からご寄稿いただいた6演題を中心に構成されています。赤池あゆみ先生らと内山佳代子先生らによる症例研究2演題はまさに交流分析を臨床で実践する好例であり、今年の学術大会の方向性と合致するものと考えます。松本敦先生はリワークに活用するワークシートに交流分析の考え方を導入されて成果を上げられていることを紹介されています。押川聖子先生らと笹尾千津子先生はそれぞれ看護学生、中年期の人々を対象にしたパーソナリティ分析から発展的な考察をされています。最後に江花昭一先生は、コ・クリエティブ交流分析を用いて作品を通した夏目漱石研究をされています。数ある夏目漱石研究の中でも極めて斬新なものと考えます。(柴山 修)

### ■投稿規定

- 1) 本誌への投稿は、日本交流分析学会会員を筆頭著者および責任著者とする論文に限り受け付けます。他誌に掲載された論文の投稿はご遠慮ください。交流分析およびその近接領域に関係した未公刊の原著論文、資料、意見、実践報告(4頁以内)、書評、ならびに総会のための資料、記録、その他を掲載します。ただし、理事会もしくは、編集委員会決定により、会員外の著者に投稿を依頼することができます。論文の採否、掲載順などは、編集委員会が決定します。
- 2) 論文投稿は、本学会のホームページに載っている「倫理要綱ならびに運用細則」に則るものであることを要します。症例報告を含む場合、個人の人権とプライバシーの保護を遵守し、倫理的配慮を行ったことに言及してください。
- 3) 原稿はA4判横書き40字×30行、各行に行番号が入るよう設定して執筆してください。外国の人名、薬品名は原語、術語は邦語を用い、必要なら( )内に原語を入れてください。図表は本文とは別個に、1点につき1枚ずつ作成してください。原著論文は、序論(緒言・はじめ)から開始し、方法・結果・考察が含まれることを確認してください。
- 4) 引用(参考)文献は本文の終わりにまとめて番号をつけ、これを本文中に引用するときは、1)、2)のようにしてください。文献は必要な最小限度とし、著者名、題名、誌名、巻数、頁(初めと終わり)、発行年次、単行本のときは著者名、書名、発行所名、発行地(外国のみ)、発行年次を記載してください。雑誌名の記載に際しては、和・欧いずれの場合でも、略さず正式名を用いてください。
- 5) 投稿に際しては、本文および図表(各1部)に、指定書式による投稿票・著者票を添付してください。投稿票・著者票は本学会のホームページからダウンロードしてください。
- 6) なるべく多くの論文を収録するために、当分の間以下のごとく掲載料を定めます。本誌10頁までは無料、それを超えるときは1頁につき5,000円、また図表、アート、写真などで製版、用紙、印刷にとくべつの費用を要するときは、実費を投稿者の負担とします。
- 7) 本誌に掲載された著作物の著作権は、本学会に帰属します。
- 8) 原稿の送付先: 〒112-0012 東京都文京区大塚3-3-7 株式会社金子書房内  
「交流分析研究」投稿論文受付係 TEL 03-3941-0113 FAX 03-3941-0163